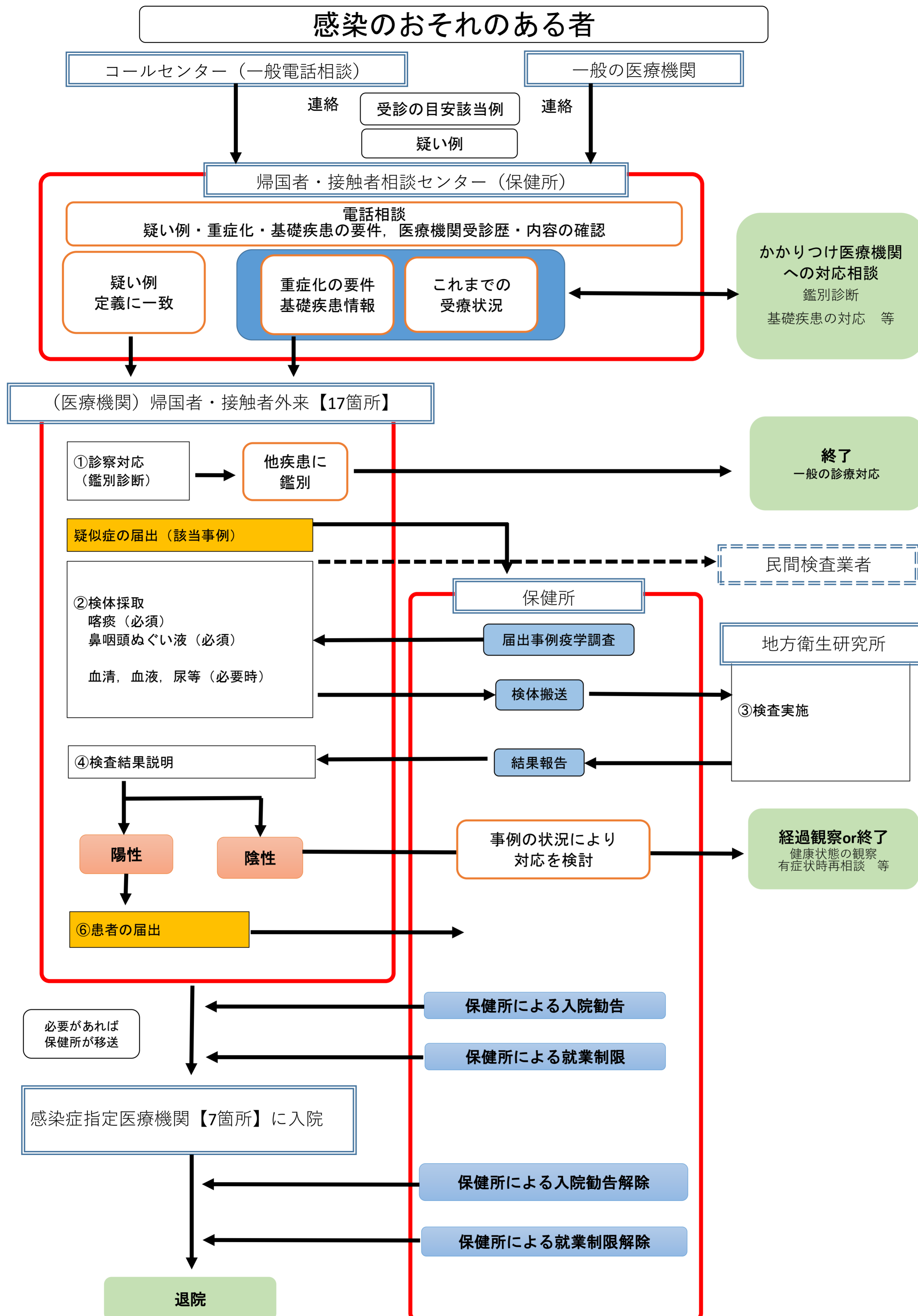


フェーズ	感染初期 フロー①	移行期 フロー②	県内感染期 (まん延期・ピーク時) フロー③
検査	全数実施	検査可能数をできるだけ 増やしながらか全数実施	重症者の鑑別診断等を 優先して実施
積極的 疫学調査	全数実施	保健所の体制を強化 しながら実施	事例に応じて実施
外来診療	帰国者・接触者外来	帰国者・接触者外来 (拡充)	一般医療機関 (外来診療) ※ 要機能分担
入院調整	保健所	宮城県調整本部	
入院診療	軽症者を含め入院勧告 感染症指定医療機関	入院者は入院勧告 (軽症者は入院としない) 感染症指定医療機関 入院協力医療機関 ※ 要機能分担	入院勧告は要検討 (軽症者は入院としない) 入院対応医療機関 ※ 要機能分担

新型コロナウイルス感染症対応フロー①

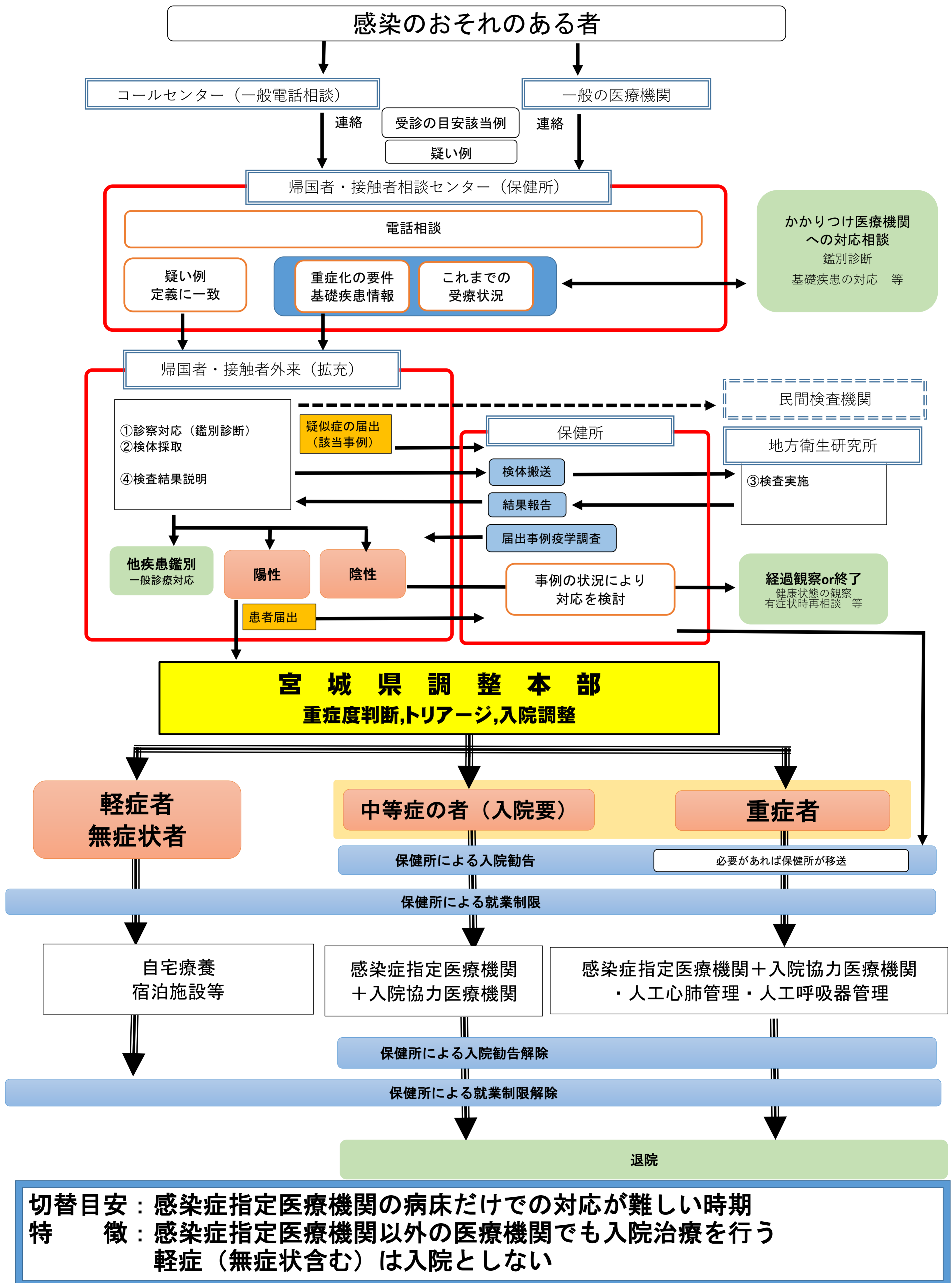
感染初期



特 徴： 感染症指定医療機関で入院治療を行う

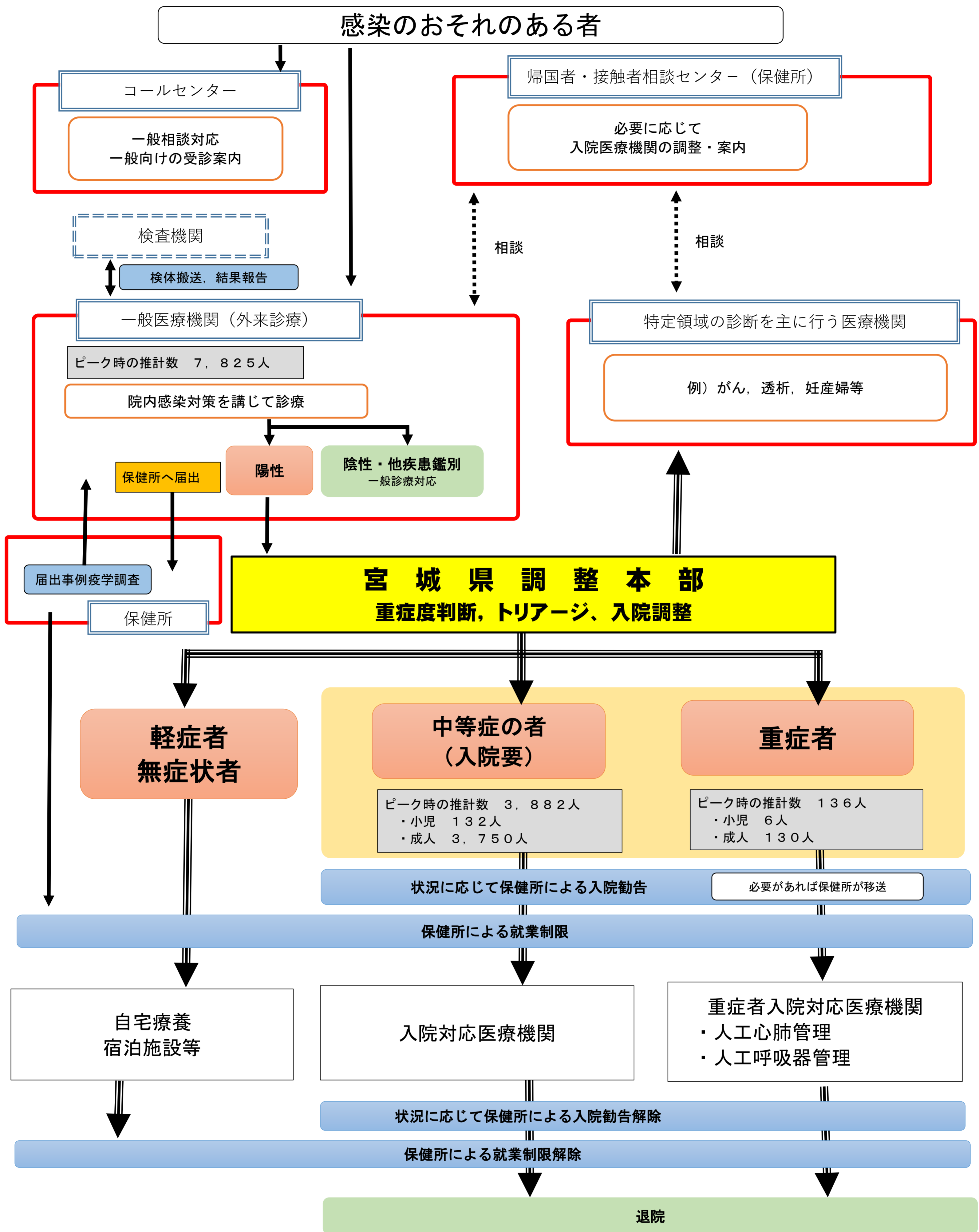
新型コロナウイルス感染症対応フロー②

移行期



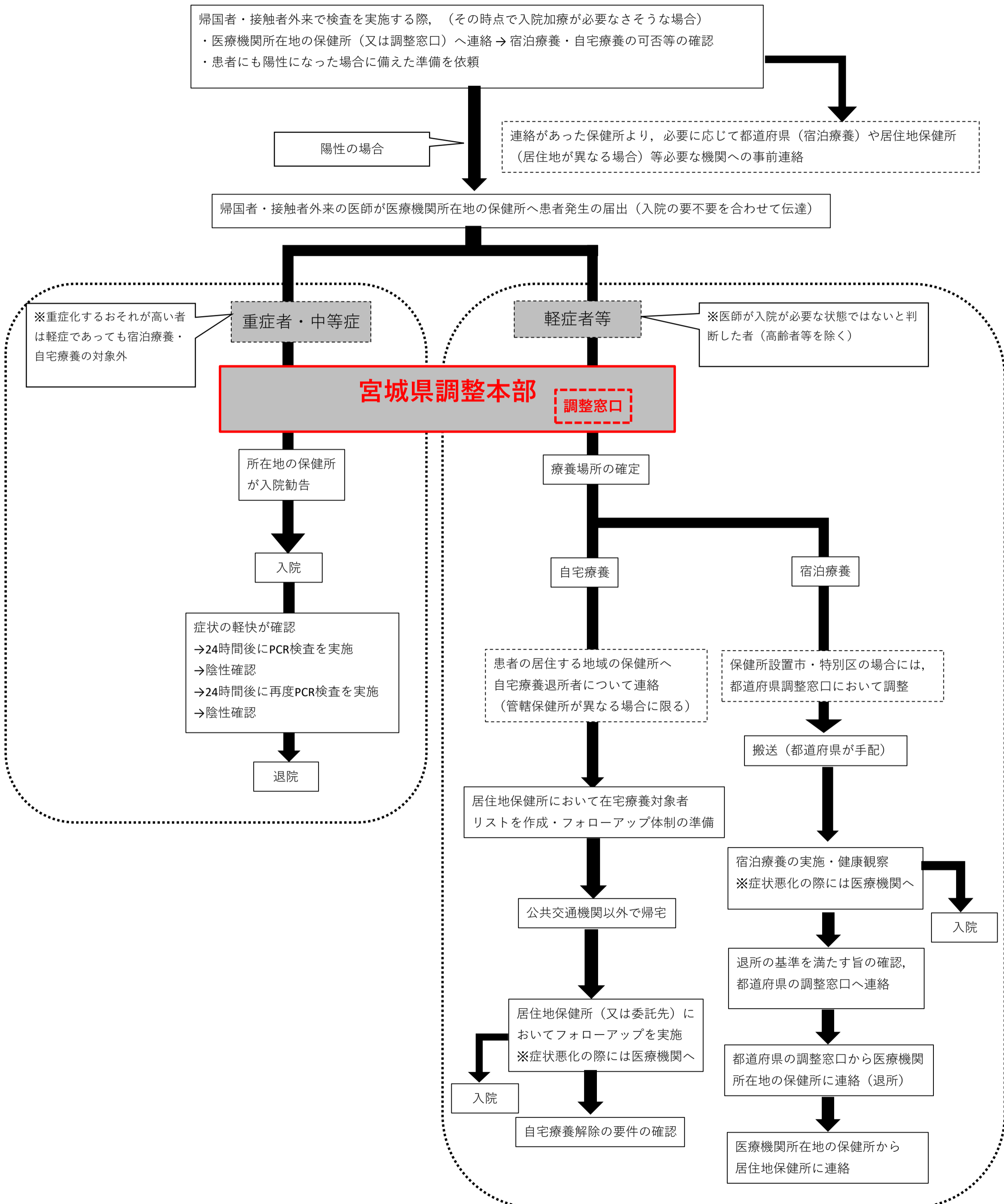
新型コロナウイルス感染症対応フロー③

県内感染期（まん延期・ピーク時）



切替目安： 帰国者・接触者外来の検査可能数を越える検査が必要な時期
特徴： 一般医療機関でも検査を行う

無症状病原体保有者及び軽症患者（軽症者等）の療養等に関する流れ



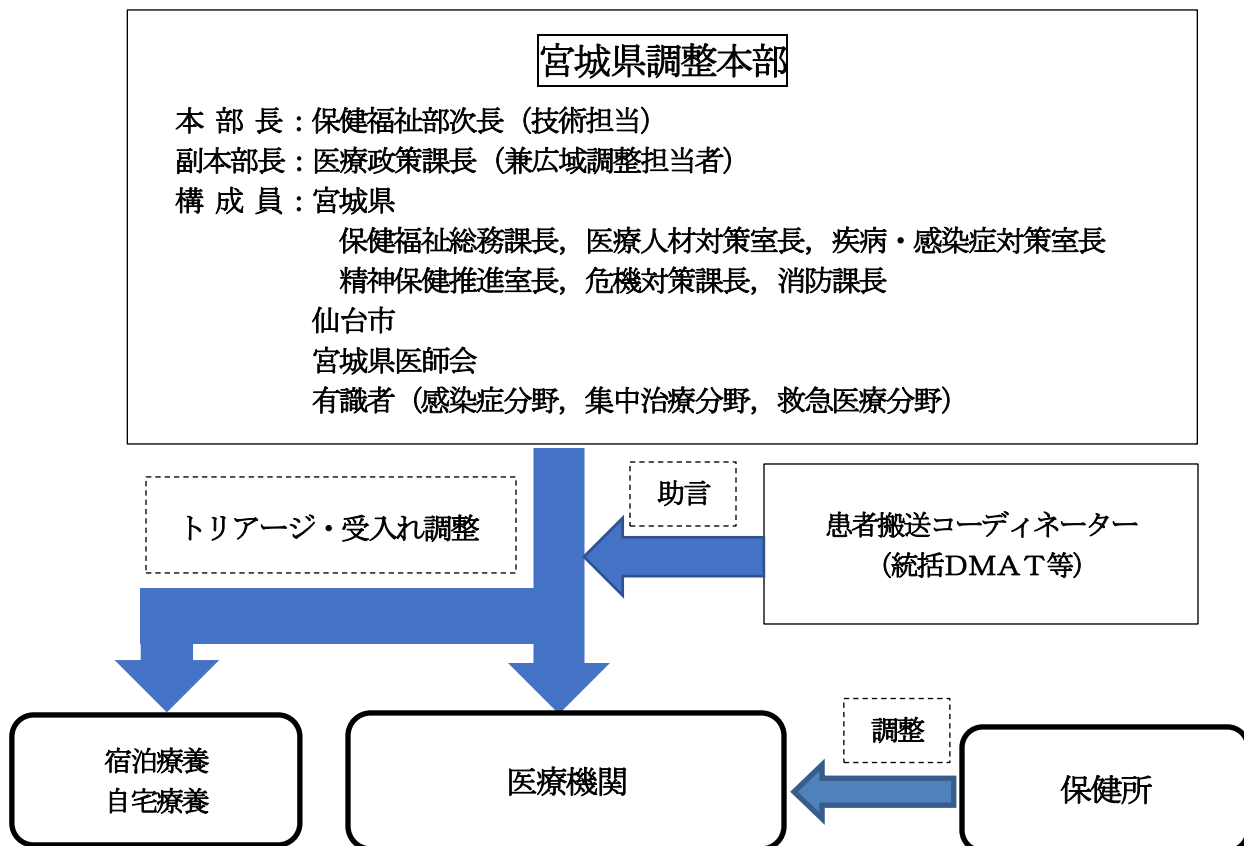
新型コロナウイルス感染症対策 宮城県調整本部の設置について

1 構成

- (1) 宮城県（保健福祉部・総務部）
- (2) 仙台市
- (3) 宮城県医師会
- (4) 有識者（感染症分野，集中治療分野，救急医療分野）
- (5) 患者搬送コーディネーター（統括DMA T等）
- (6) 広域調整担当者（医療政策課長）

2 業務

- (1) 受入れ医療機関の事前検討及び調整
- (2) 患者の入院調整（受入れ順序，受入れ先）
- (3) 軽症者の療養場所の選定
- (4) 搬送体制の構築
- (5) 広域調整先都道府県との連絡調整



新型コロナウイルス感染症対策 宮城県調整本部構成員

[有識者]

所 属	職 名	氏 名
新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーチーム (東北医科薬科大学 医学部 感染症学研究室)	座長 (特任教授)	賀来 満夫
東北大学大学院医学系研究科 内科病態学講座 総合感染症学分野	准教授	青柳 哲史
東北医科薬科大学 医学部 感染症学教室	准教授	遠藤 史郎
東北医科薬科大学 医学部 救急災害医療学教室	准教授	遠藤 智之
東北大学大学院医学系研究科 外科病態学講座 救急医学分野	教授	久志本 成樹
東北大学病院 集中治療部	准教授	齋藤 浩二
東北大学病院	特命教授 感染管理室長	徳田 浩一
公益社団法人宮城県医師会	常任理事	藤盛 啓成
東北大学大学院医学系研究科 総合感染症学分野	助教	吉田 眞紀子

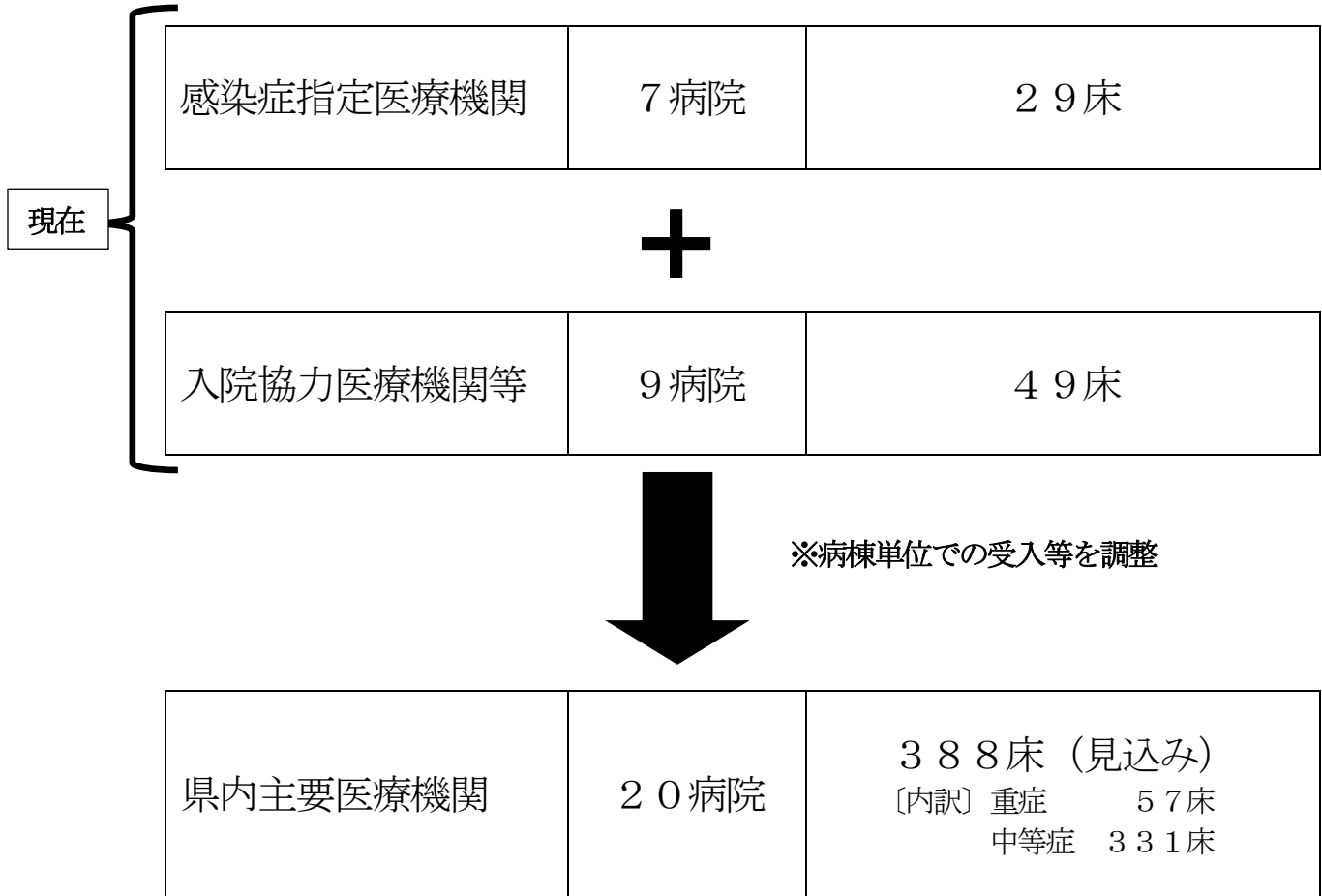
(敬称略, 五十音順)

[患者搬送コーディネーター]

所 属	職 名	氏 名
東北大学病院 総合地域医療教育支援	部長	石井 正
東北医科薬科大学 医学部 救急災害医療学教室	准教授	遠藤 智之
宮城県保健福祉部 東部保健福祉事務所	技術次長	野上 慶彦
公益社団法人宮城県医師会	副会長	橋本 省
仙台市立病院	救命救急センター長	山内 聡

(敬称略, 五十音順)

新型コロナウイルス感染症患者受入可能病床数



※更に、主要医療機関以外での受入拡大について、県医師会等と調整予定